

～ものづくり技術人材リスキリング研修～



電磁波影響・誤動作 評価解析技術
EMI 測定の基礎

主催：大分県産業科学技術センター

1. 概要： ① (座学)

1. 測定機器の基礎
スペアナ、レシーバーの原理や使用するうえでのキーワードをご紹介します。アンテナや LISN、ISN 等のトラスデューサの役割や用途についてご紹介します。
2. 測定方法、測定配置
放射エミッション、伝導エミッション、雑音電力測定の概要と、典型的なセットアップ方法についてご紹介します。
3. 測定時の注意事項
プリアンプの飽和による影響と確認、対策方法についてご紹介します。上記に関連して、測定感度による測定結果への影響についてご紹介します。間欠(レベルが不安定な)ノイズを測定する際の注意点についてご紹介します。
4. 技術動向のご紹介
Time Domain Scan(FFT を用いた測定手法)についてご紹介します。

(実習) 共通 EUT にて、放射・伝導エミッション測定の実習をおこないます。
EUT の配置、ソフトウェアの操作、測定機器の操作などを実習します。

② (実習) 各社持ち込み EUT にて、放射・伝導エミッション測定の実習をおこないます。
実習内容はご希望によりアレンジ可です。

2. 日時： ① 令和5年12月5日(火)：9時30分～16時
② 令和5年12月6日(水)：9時30分～16時30分
※②は個社別の対応のため、開始・終了時間は企業ごとに異なります
3. 会場： 大分県産業科学技術センター 第一研修室(大分市高江西1-4361-10)
実習はDs-Labo 電波暗室でおこないます
4. 講師： (座学) 株式会社東陽テクニカ 谷口 文彬 氏
(実習) 株式会社東陽テクニカ 谷口 文彬 氏、大分県産業科学技術センター 職員
5. 定員： ①15名(先着順) ②は定員に達したので受付を終了します
②3社(先着順)※②はお申込み後に内容と時間の調整をさせていただきます
6. 受講料： 5,000円(①のみ、①と②両方受講でも金額は同じです)
※受講料は当日会場にて現金でお支払いください。お釣りのいらないようにお願いします。
7. 申込： 11月21日(火)までに、QRコードおよび URL 経由、メール、FAX のいずれかでお申し込み下さい。 ①のみ11月30日(木)まで締切を延長しました
8. 問合せ先： 大分県産業科学技術センター 電子・情報担当 首藤
TEL：097-596-7101、FAX：097-596-7110、E-mail：t-shuto@oita-ri.jp
※当日は、セミナーの様子を写真撮影して広報等に使用することがあります。

申込書

QRコードはこちら→



※ URL は、<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/emc2023-02>

※ 電子メールの場合は、件名を「EMI 測定の基礎 受講申込」としてください。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

※ 受付完了後、こちらから電子メール等にてご連絡をいたします。

申込先：産業科学技術センター 電子・情報担当 首藤行(FAX:097-596-7110、E-mail:t-shuto@oita-ri.jp)

貴社名		所在地	
氏名 所属・役職 TEL E-mail	E-mail :	<input type="checkbox"/> ①12月5日(座学と実習) <input checked="" type="checkbox"/> ②12月6日(実習) <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後(前半) <input type="checkbox"/> 午後(後半)	

※ 当センターからの情報を電子メールでお知らせして良いですか？(OIRI メール便への登録) はい・いいえ・登録済み